

令和4年度 第1回 松本市社会福祉審議会 会議録

日 時	令和4年5月9日(月) 午後2時～午後3時
会 場	Mウィング6階ホール
出席者	委員20名(欠席者3名)
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 諮問</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 答申事項 第4次松本市障害者計画の策定について (松福福第31号令和3年5月25日諮問)</p> <p>(2) 諮問事項 ア 重層的支援体制の構築に係る多機関協働及び生活支援のあり方について イ 松本市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
あいさつ	<p>2 あいさつ</p> <p>小林委員長 臥雲市長</p>
諮 問	<p>3 諮問</p> <p>市長から次の2項目について諮問された。</p> <p>(1) 重層的支援体制の構築に係る多機関協働及び生活支援のあり方について</p> <p>(2) 松本市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p>
議 事	<p>4 議事</p> <p>(1) 答申事項 第4次松本市障害者計画の策定について (松福福第31号令和3年5月25日諮問)</p> <p>障害者福祉専門分科会及び事務局から第4次松本市障がい者計画の素案について説明</p> <p>【質疑応答】 なし</p>

(2) 諮問事項

ア 重層的支援体制の構築に係る多機関協働及び生活支援のあり方について

事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(委員)

地域では、平常時だけではなく、災害時についての要支援者への支援について、防災訓練等で考えている。災害が起きた時にどうするかも検討していただきたい。

(事務局)

各地区の中では、災害時を想定した見守りや、要支援者への支援について対応いただいている。普段からの取組みが災害時に生かされるので、災害時を想定しながら、普段からの支えあいの仕組みづくりを進めていく。

(委員)

多機関協働事業として、連携の中に成年後見利用促進法関係の協議会等や差別解消法関係の協議会等が関わっていければ、厚い体制になるのではないか。

(事務局)

各専門分科会で議論していく際に検討してまいりたい。

イ 松本市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(委員)

量の見込みについて検討するとのことだが、質についてはいかがか。

(事務局)

質の部分についても見直しの検討が必要な部分があると考えている。

(委員)

次の第3期の計画、先を見据えての見直しが必要だと思う。

(事務局)

第3期の計画の策定を見据えて見直しをしたい。第3期計画は、この中間見直しを踏まえてアンケート調査等を行い、進める予定である。

(委員)

計画の中で、障がいがある子どもや不登校のこどもの支援についてはどう扱

	<p>われているのか。 (事務局) 「子ども・子育て支援事業計画」においては、関連する事業についてのみ数値の検討をいただくことになるが、「松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」において、進捗状況等について把握していきたい。</p> <p>(委員) コロナ禍で休校になり、仕事を休まなくてはいけなくなり困ったという話を多く聞いたが、同じことが日常的にあるのが不登校の問題である。また、親が働けなくなったことで食事の問題等様々な格差が生まれている。このことについても取り上げてもらいたい。</p> <p>(委員) 新聞でヤングケアラーの問題を知った。この問題について市の現状を教えてください。</p> <p>(事務局) 要保護児童対策地域協議会の中で把握し、支援を行っている。ヤングケアラーは表面化しづらい問題であり、今後国や県の動向を見ながら、市としても複合的な支援をしてまいりたい。</p> <p>(委員) 医療的ケアが必要な障がいをお持ちのお子さんや、発達障がいのあるお子さんの保育を保障していく体制をどの程度考えているのかお聞きしたい。</p> <p>(事務局) 保育園では、医療的なケアが必要なお子さんについても現在受け入れを行っている。訪問看護ステーションに委託をし、保育園で受け入れができることが前提ではあるが、可能な限り受け入れを行っている。</p>
<p>その他</p>	<p>5 その他</p> <p>【ご意見等】</p> <p>(委員) 子どものことに関して、福祉と教育と方向性を合わせ、協働していく必要があると思うので、教育委員会と議論ができる機会があるとよい。</p> <p>(委員) 少子化の問題について、子育てに喜びを見つけれられる保護者を増やしたい、女性の社会進出を進めたいと、自分のなかでも葛藤がある。少子化について市の考えを伺いたい。</p> <p>(事務局) 少子化問題は、市の検討課題の筆頭である。総合計画にも反映しているが、全市を挙げて取り組んでいく。女性の社会進出の後押しはもちろんであるが、</p>

	<p>子育てを楽しんでもらうことも大切である。子育て支援、就労の場を増やすなど、総合的に検討しているところである。</p>
--	---